

※内はロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

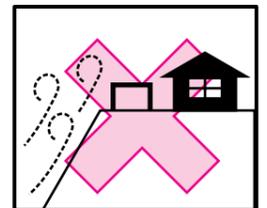
※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■部材の固定

- タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
($\phi 4$ に対し $\phi 3.5$ 、 $\phi 5$ のねじに対し $\phi 4.5$ のドリルを使用してください。)
- 必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又施工後ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。

■設置条件

- 破損防止の為、落雪が製品に直接当たる場所には取り付けないでください。
- 本製品は積雪地域用3000・4500形で、積雪(新雪)100・150cm以下での地域用です。
- 本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取り付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
- 柱移動は当社指定範囲内にしてください。
- 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



■基礎について

- 基礎の大きさは指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 地下埋設物(給排水管など)に影響を与えないようご注意ください。
- コンクリート(又はモルタル)には海砂や急結材は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 柱内の水抜きができるよう柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。又柱の根元にも水抜き穴($\phi 6$)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し柱が破損するおそれがあります。
- 養成期間は十分(4日~1週間)とり、その間重いものを乗せたり振動させたりしないよう指示ください。

- 幅60サイズ(積雪地域用3000形)には必ずサポート柱を取り付けてください。

- 幅55、幅60サイズ(積雪地用4500形)のほりの中央には必ず中間柱を設置してください。

■絶縁処理について

- アルミ形材が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は絶縁処理をしてください。

■屋根折板について

- 幅600、山高88、山ピッチ200の折板を現地手配してください。
- 取付けの際は折板から切粉を取り除いてください。サビの原因となることがあります。

■施工について

- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

- むやみに改造・変更(階段屋根・母屋への取付けなど)をしないでください。

- 取付けは施工業者の方以外に行わないでください。不具合発生の原因となることがあります。

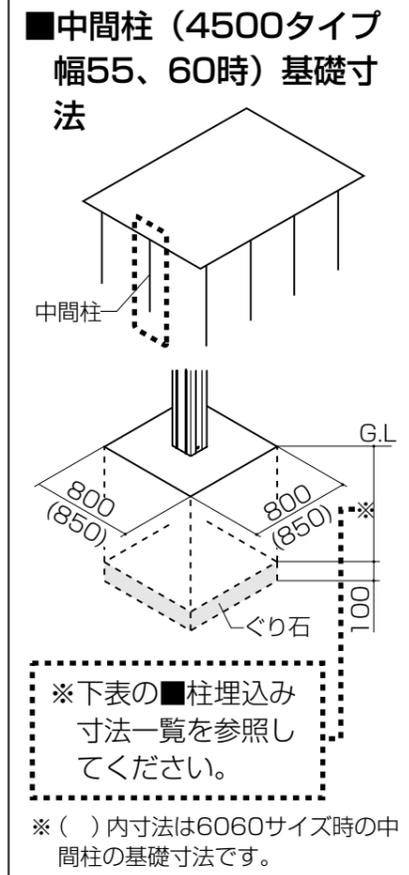
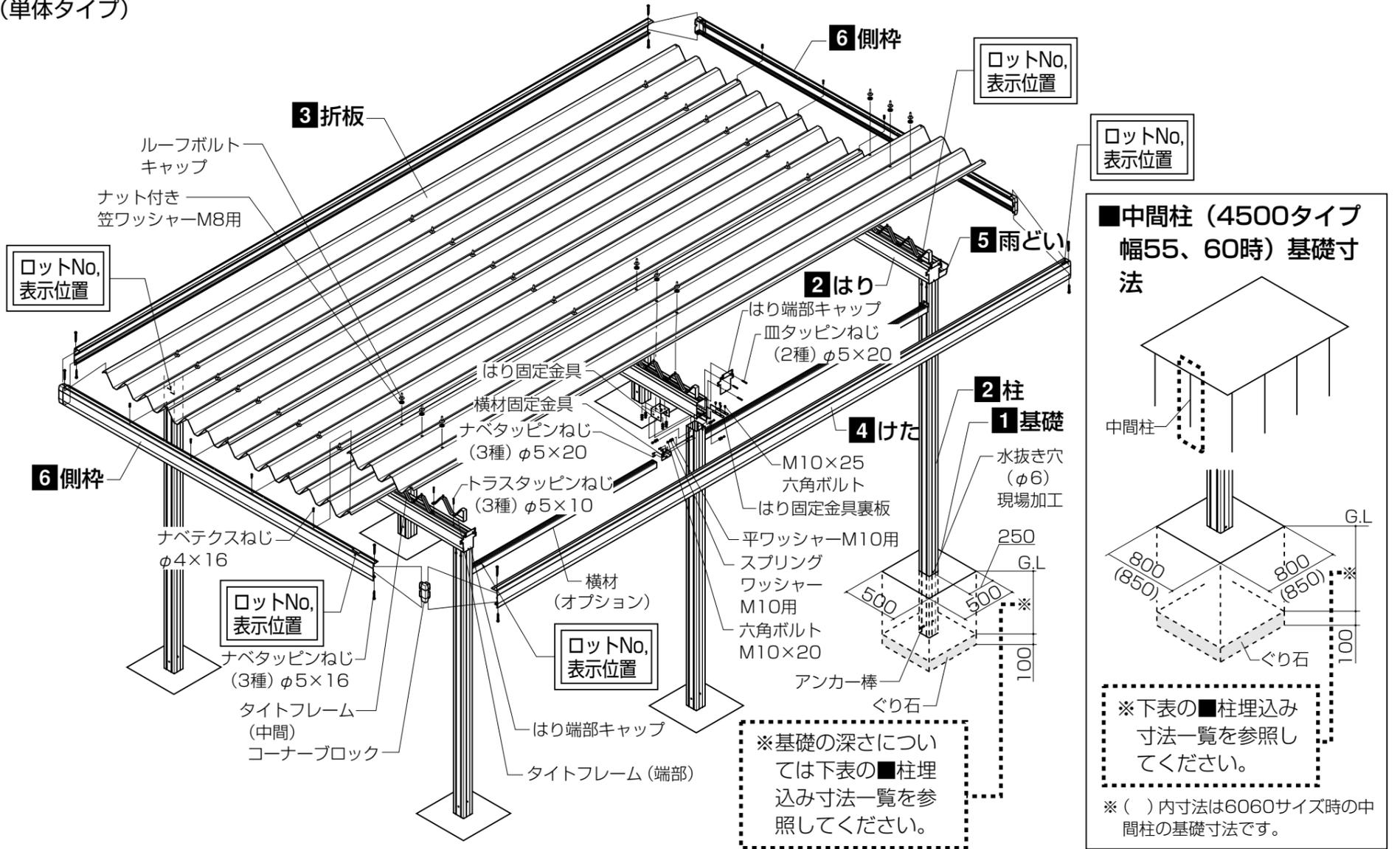
※水漏れにより自動車などを汚すおそれがありますので下記事項をお守りください。

■シーリングについて

- シーリングは指定個所に必ず行ってください。

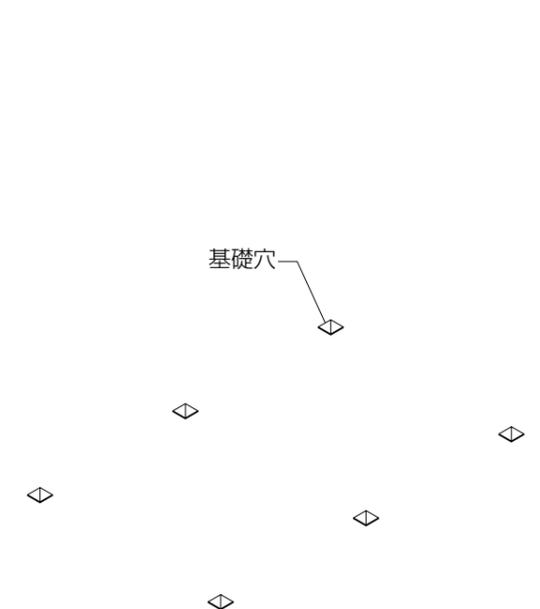
■構成図

(単体タイプ)



■取付け順序

1 基礎の施工



■取付け詳細

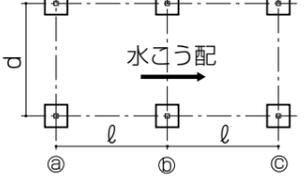
1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
 ※現場の状況に応じて屋根の水こう配方向を決定してください。
 ※中間柱は積雪4500タイプるとき必要になります。
 ※柱の移動範囲

サイズ呼称	ℓ (mm)	d (mm)
5530	2000~2200	
6030	2300~2500	左右の柱は内側に100mm、4500タイプの中間柱は左右に100mm。
5555 (6本柱仕様)	2000~2200	
5560 (6本柱仕様)	2300~2500	
5555・5560 (8本柱仕様)	1300~1500	
6055・6060	1500~1700	

※オプション (サイドスクリーン3面囲い・上吊棚 (幅方向)) を取り付ける場合、柱の本数、墨出し位置が異なる場合があります。
 (詳しくは各オプションの取付け説明書を参照してください。)

●幅55:6本柱仕様



■墨出し位置

(単位: mm)

積雪タイプ	柱仕様	サイズ呼称	ℓ	d	dA
3000・4500 共通	6本柱	5530	2100	2915	—
	6本柱	6030	2400	2915	—
3000タイプ	8本柱	5555	1400	5315	—
	8本柱	6055	1600	5315	—
	8本柱	5560	1400	5915	—
	8本柱	6060	1600	5915	—
	6本柱	5555	2100	5315	—
	6本柱	6055	2400	5315	—
4500タイプ	12本柱	5555	1400	5315	2657.5
	12本柱	6055	1600	5315	2657.5
	12本柱	5560	1400	5915	2657.5
	12本柱	6060	1600	5915	2657.5
	8本柱	5555	1400	5315	—
	8本柱	6055	1600	5315	—
	8本柱	5555	1400	5315	—
	8本柱	6055	1600	5315	—

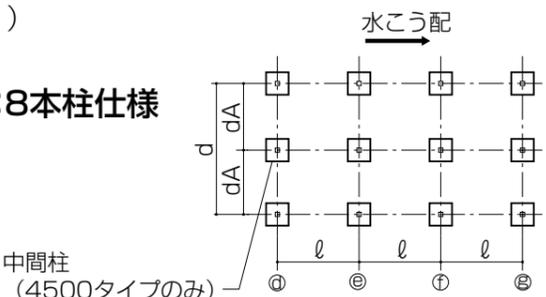
■柱埋込み寸法一覧 (柱を切断しない場合)

(単位: mm)

サイズ	a	b	c
長さ55	538.3 (1038.3)	611.7 (1111.7)	685.0 (1185.0)
長さ60	517.4 (1017.4)	601.2 (1101.2)	685.0 (1185.0)

●幅60

●幅55:8本柱仕様



(単位: mm)

サイズ	a	b	c	d
長さ55	538.3 (1038.3)	587.2 (1087.2)	636.1 (1136.1)	685.0 (1185.0)
長さ60	517.4 (1017.4)	573.3 (1073.3)	629.1 (1129.1)	685.0 (1185.0)

()内は凍上柱の寸法です。
 ※柱移動する場合は柱埋込み寸法を調整してください。

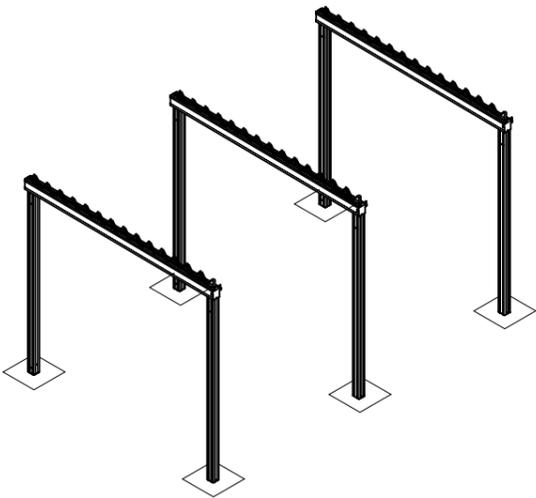
■柱切断寸法一覧 (埋込み深さを統一する場合)

サイズ	地域	埋込み深さ	柱切断寸法		
			a	b	c
長さ55	標準	500	38	112	185
	凍上	1000			
長さ60	標準	500	17	101	185
	凍上	1000			

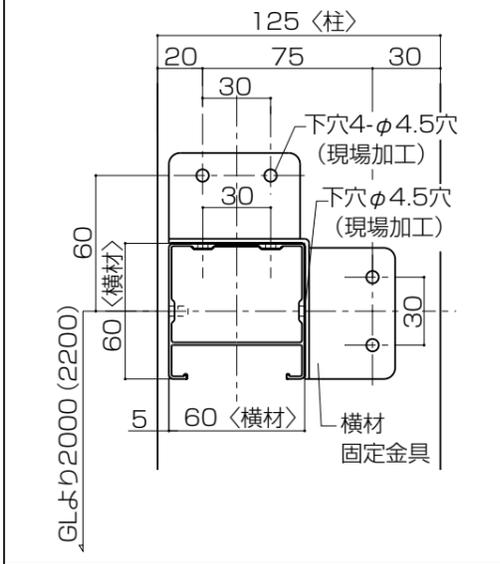
サイズ	地域	埋込み深さ	柱切断寸法			
			a	b	c	d
長さ55	標準	500	38	87	136	185
	凍上	1000				
長さ60	標準	500	17	73	129	185
	凍上	1000				

※柱移動する場合は、柱切断寸法を調整してください。

2 柱・はりの取付け



●横材取付け位置



() 内寸法は、ハイルーフ柱の寸法です。

2 柱・はりの取付け

※サポート柱・中間柱を取り付ける場合は、あらかじめ裏板およびボルトを差し込んでください。

●中間柱→「本取付け説明書P.3下段参照」

●サポート柱→「サポート柱取付け説明書参照」

①はりにタイトフレーム、はり固定金具を取り付けます。

②柱にはり固定金具を差し込んで固定します。

③はり端部キャップを取り付けます。

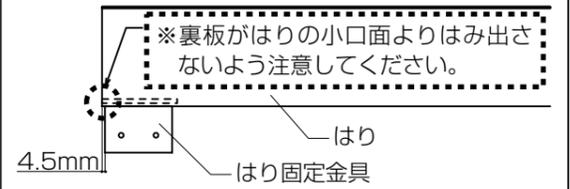
【横材 (オプション) を使用する場合】

④柱に下穴φ4.5をあけ横材取付け金具を取り付けます。(下図参照)

⑤横材をはめて固定し、柱の水平・垂直を確認します。

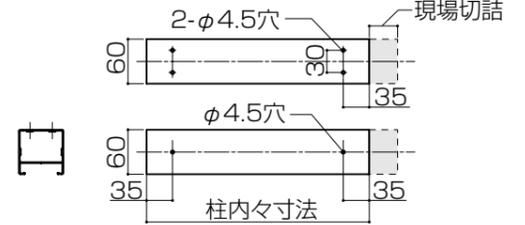
※横材取付け高さは任意ですが、GLから2000 (2200) を目安としてください。() 内寸法はハイルーフ柱の寸法です。

●はり固定金具取付け位置

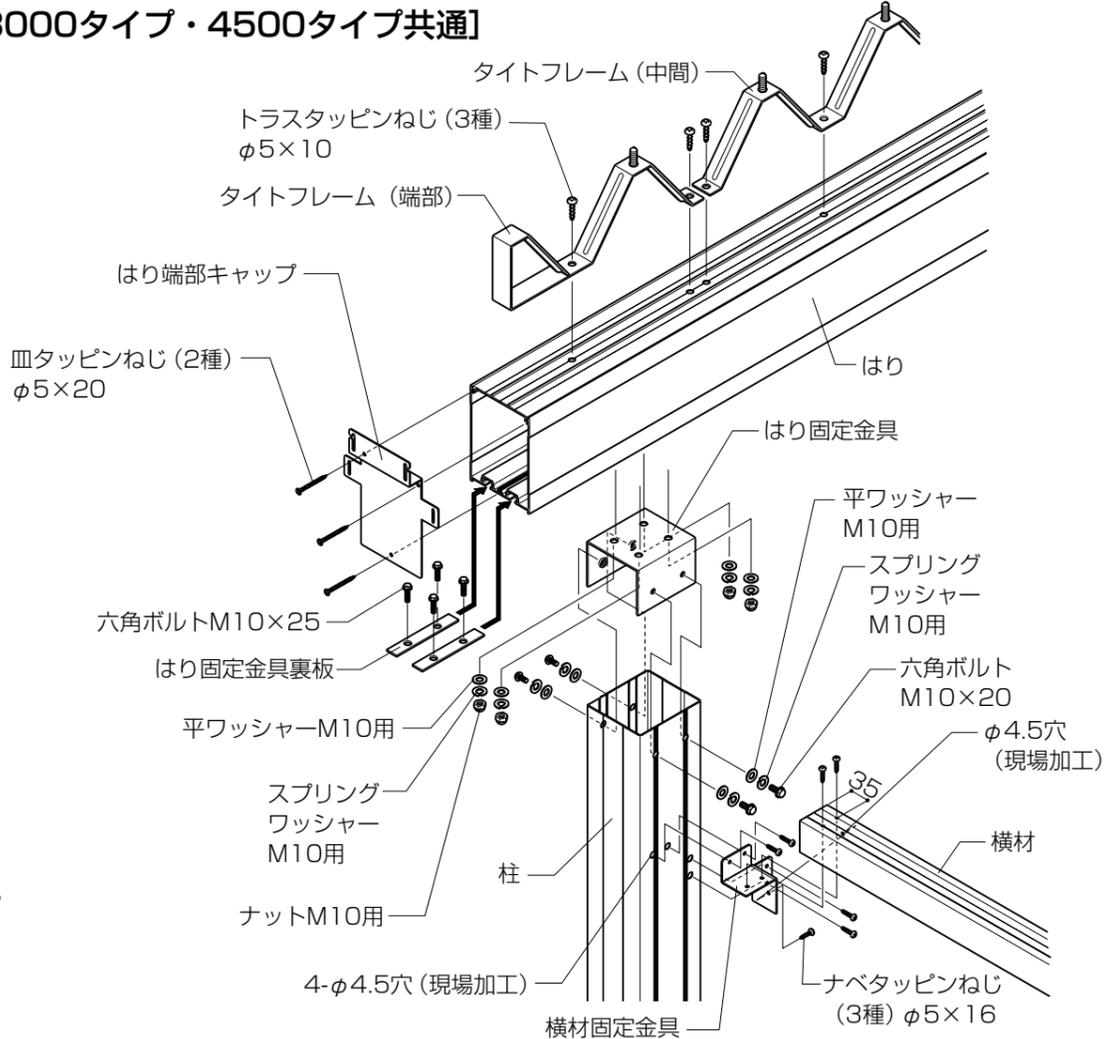


●柱移動時の横材の加工

※柱スパンが広がる場合は、1サイズ長いセット又はバー材を扱い出してください。

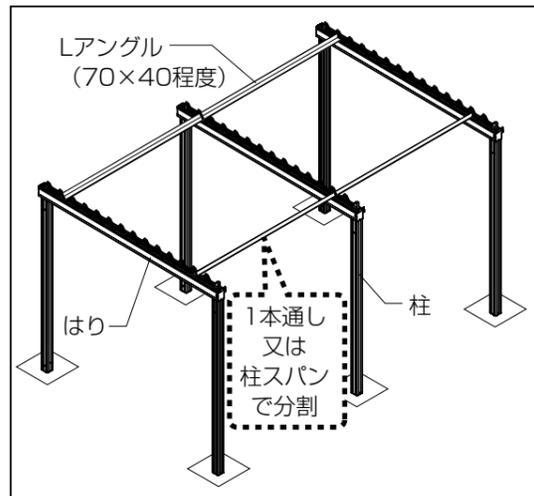


【3000タイプ・4500タイプ共通】



【横材 (オプション) を使用しない場合】

⑥柱が倒れないようLアングルなどで仮固定し、水平・垂直を確認します。
※Lアングル (70×40程度) を現場で用意してください。



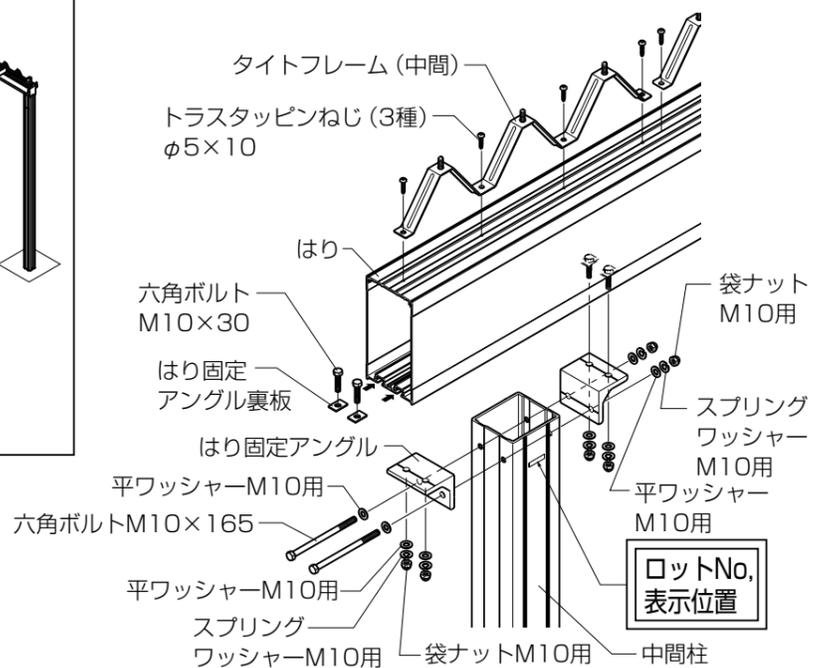
●中間柱・はりの取付け (積雪4500タイプの場合)

①はり固定アングル裏板と六角ボルトM10×30をはりに挿入します。

②はり固定アングルをはりに仮固定します。

③中間柱とはり固定アングルを貫通ボルトにて固定します。

④はり固定アングルをはりに固定します。



3 折板の取付け

3 折板の取付け

●右図にしたがい折板に下穴φ12穴をあけ、タイトフレームに取り付けます。

▲ 注意

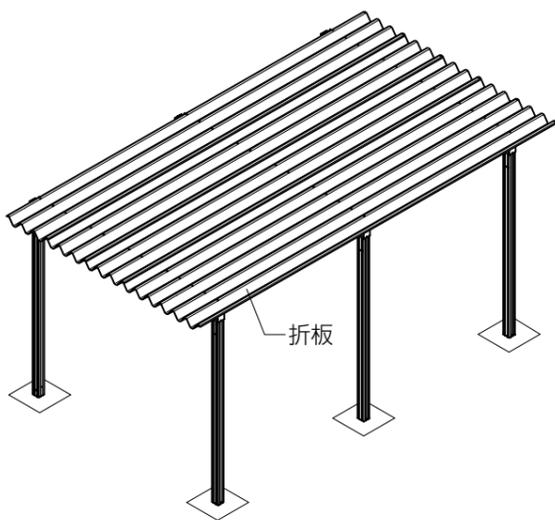
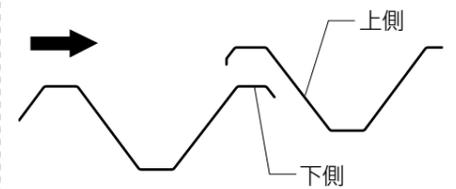
●折板から切粉を取り除いてください。サビの原因になります。

※両端の位置に取り付く折板の端の山には絶対に穴を開けないでください。(右図参照)

※折板の重なり部は形状が合うように向きに注意してください。

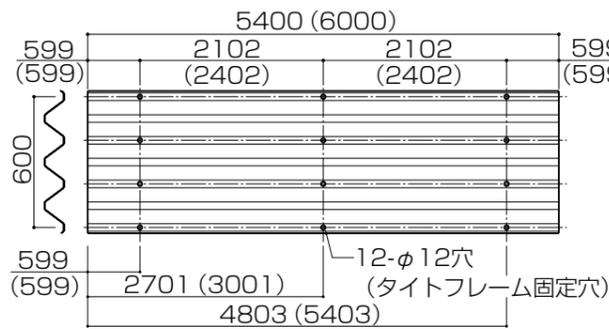
■折板重なり部詳細図

※折板は片側から順に敷詰めてください。

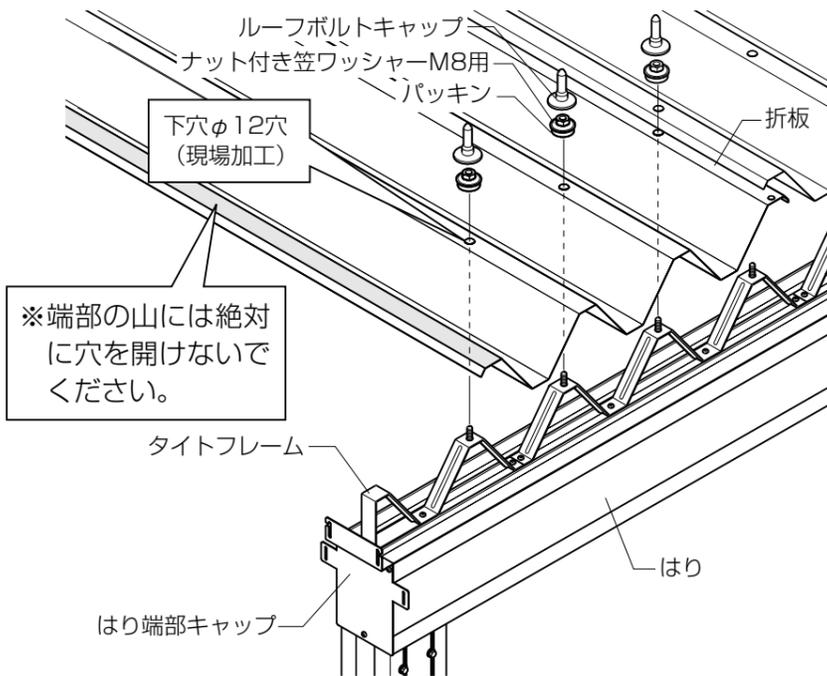


■折板現場加工図

〔はり3本の時〕



〔はり4本の時〕



4 けたの取付け

4 けたの取付け

①六角ボルトM5×10をけたのボルトホールに挿入し、柱スパンで割りふります。(A図参照)

②はり端部キャップとけたを固定します。

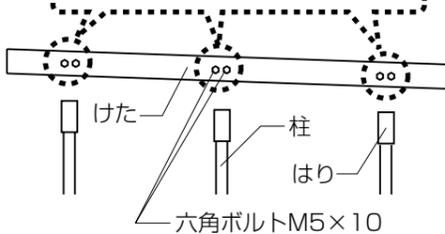
※けたの端部と折板の端部がそろそろ位置で固定してください。(B図参照)

■A図

●M5×10六角ボルト挿入数

サイズ	個
幅30	6個
幅55、60	8個

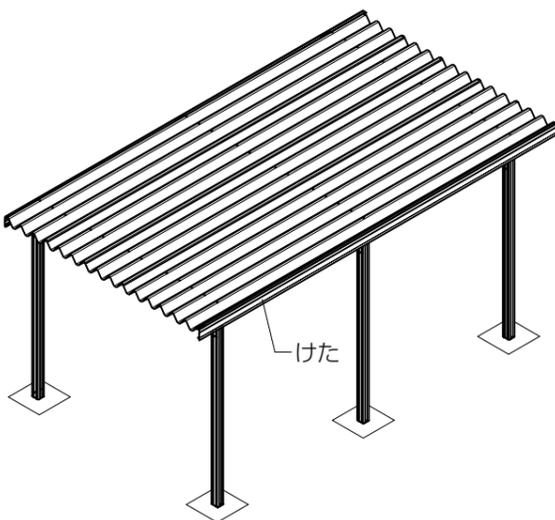
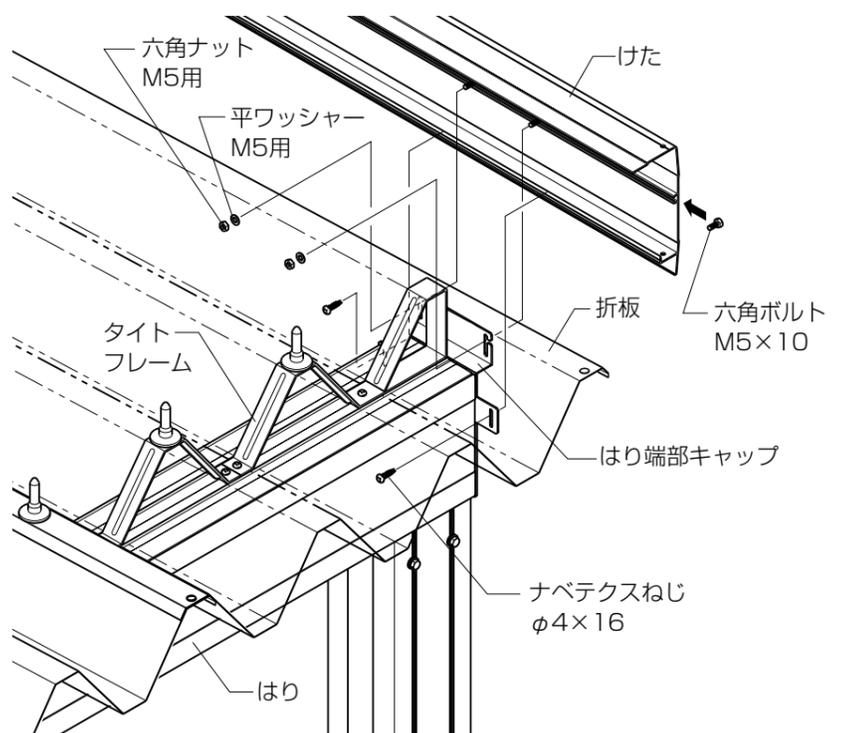
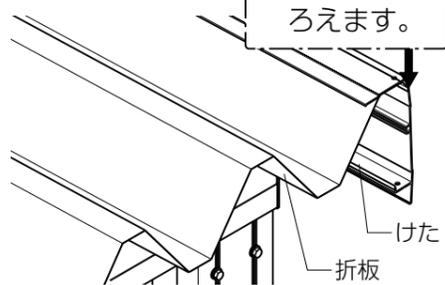
六角ボルトを割りふります。



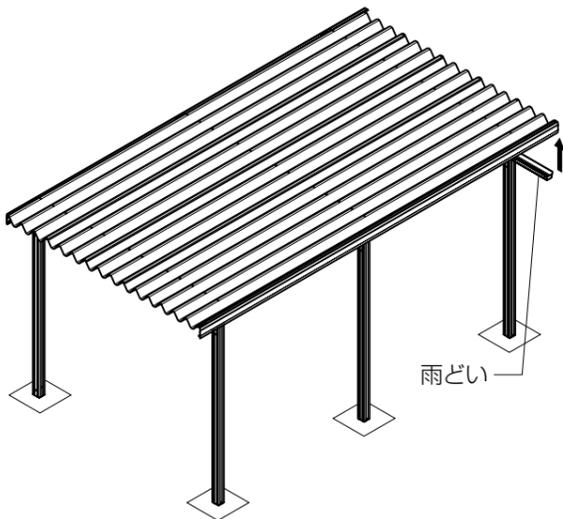
■B図

●けた固定位置

※折板とけたの端部をそろえます。

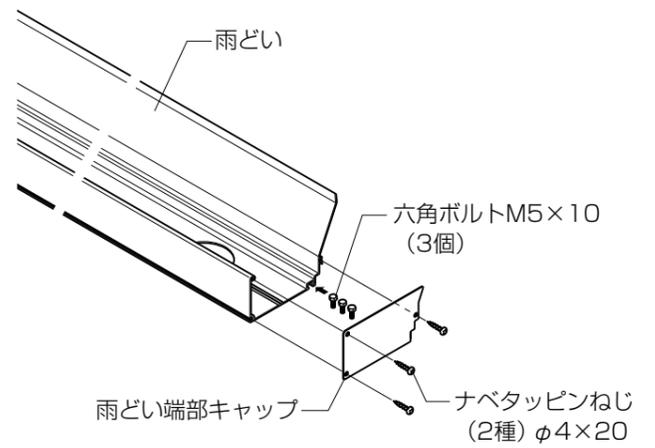


5 雨どいの取付け



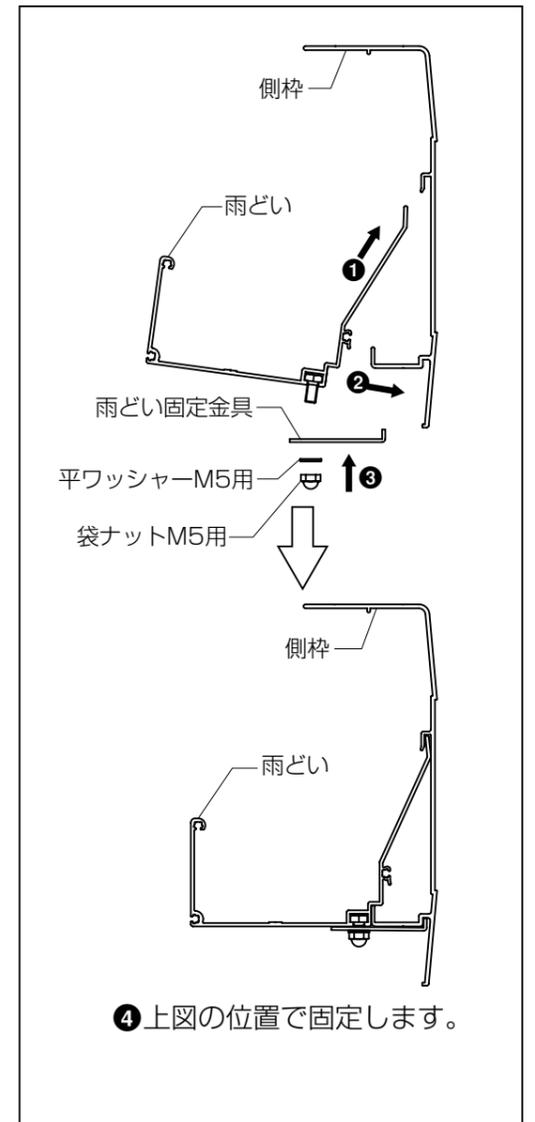
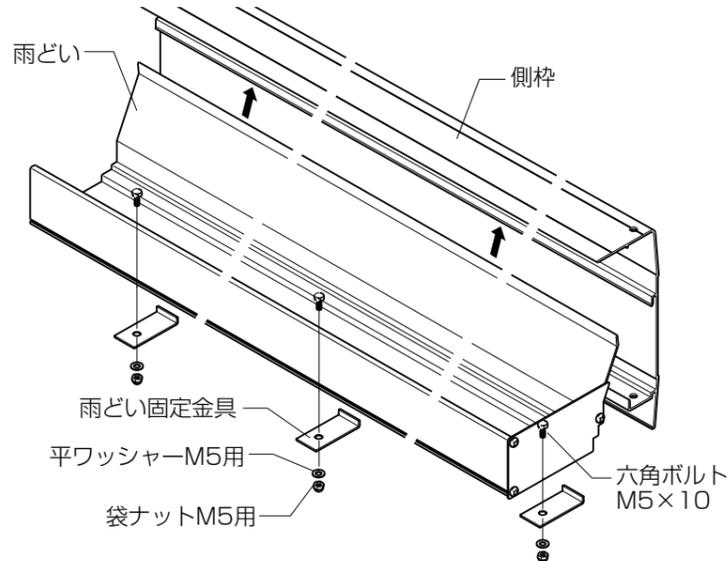
5 雨どいの取付け

①雨どいのボルトホールに六角ボルトM5×10を挿入し、雨どい端部キャップを取り付けます。



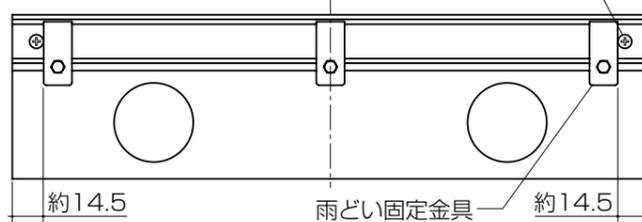
②雨どいを側枠にはめ込み、雨どい固定金具で固定します。

※雨どいは、ブランドラベルの付いていない方の側枠に取り付けてください。



●雨どい固定金具取付け位置

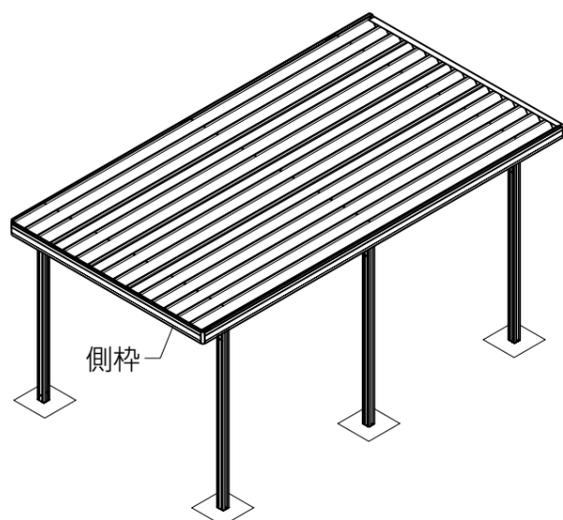
コーナブロック取付けねじ
(ナベタッピンねじ (3種) $\phi 5 \times 16$)



※雨どい固定金具は中央と両端の3カ所に取り付けます。
(両端の金具は側枠をけたに取付け後、ねじの頭に金具の端を合せて固定してください。)

④上図の位置で固定します。

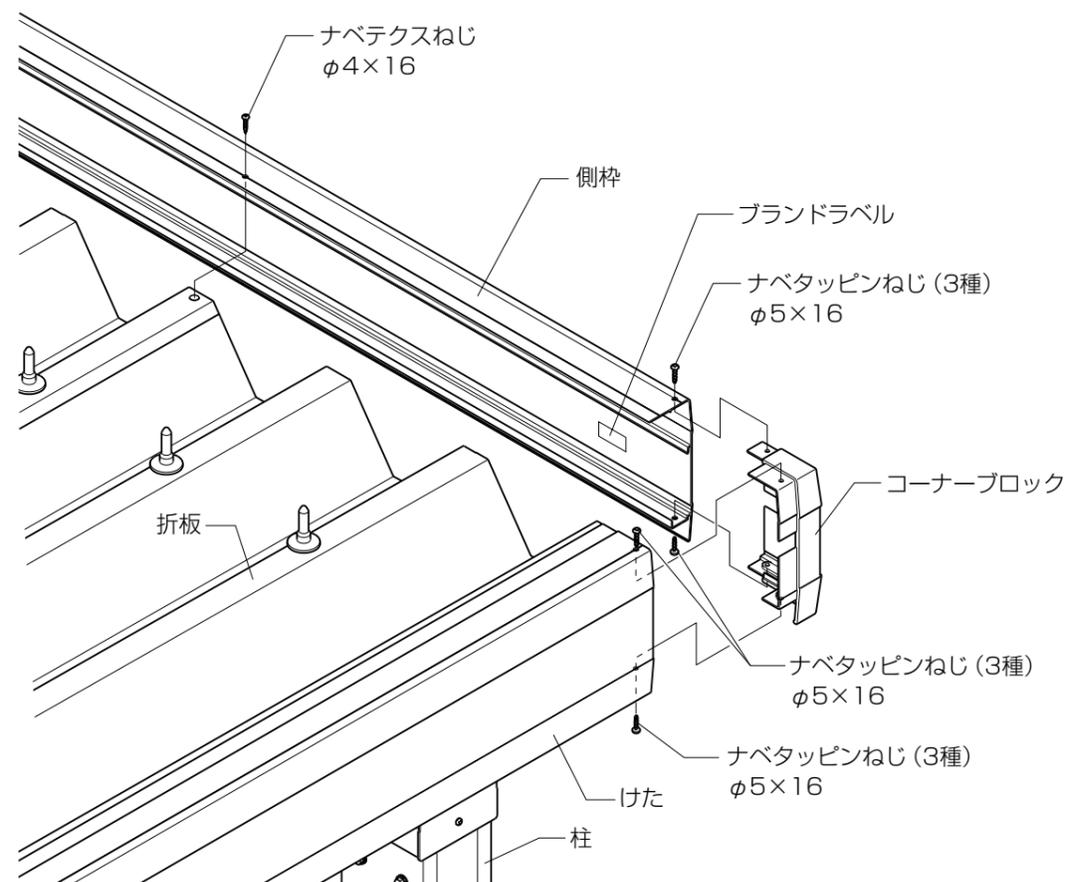
6 側枠の取付け



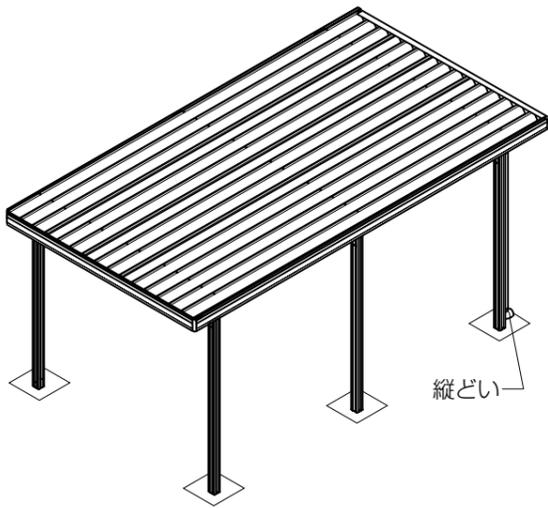
6 側枠の取付け

①側枠にコーナブロックを取り付け、けたに固定します。

②側枠の加工穴よりテクスねじで折板に固定します。

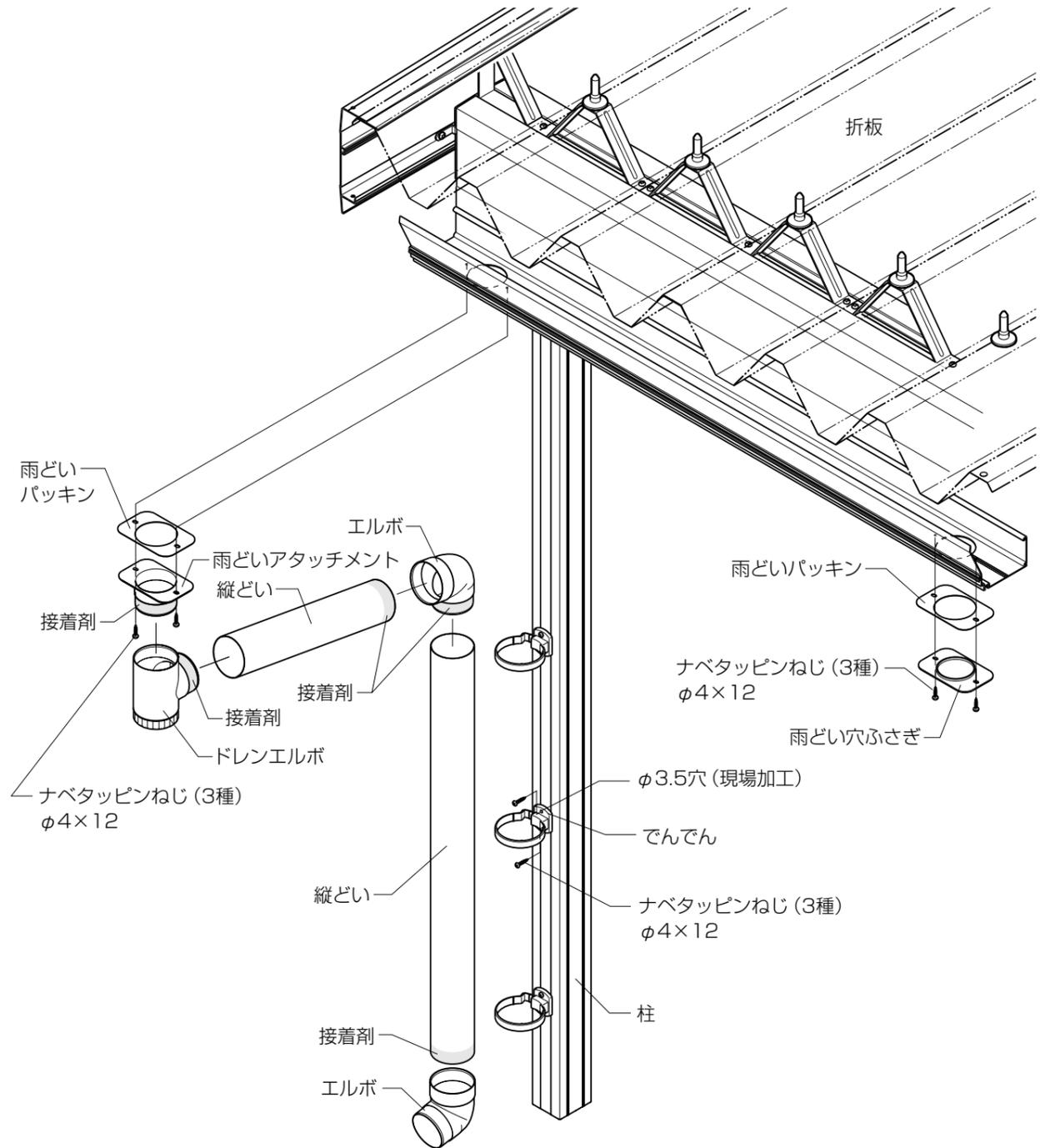


7 縦どいの取付け



7 縦どいの取付け

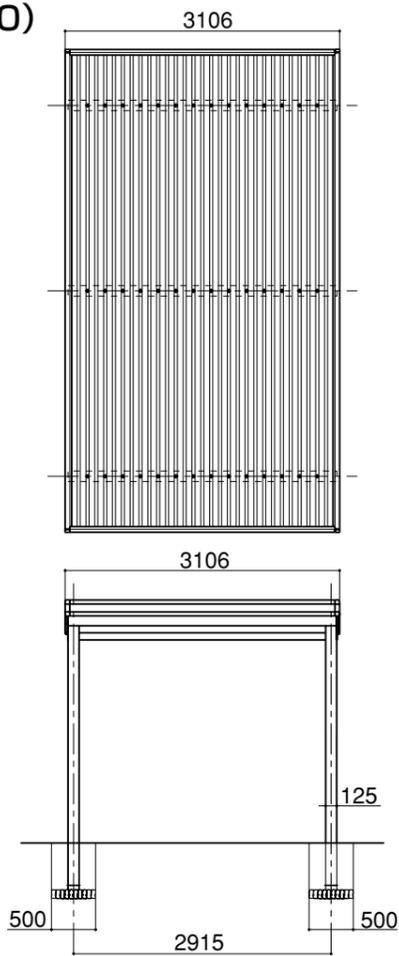
①下図のように雨どいを取り付けます。



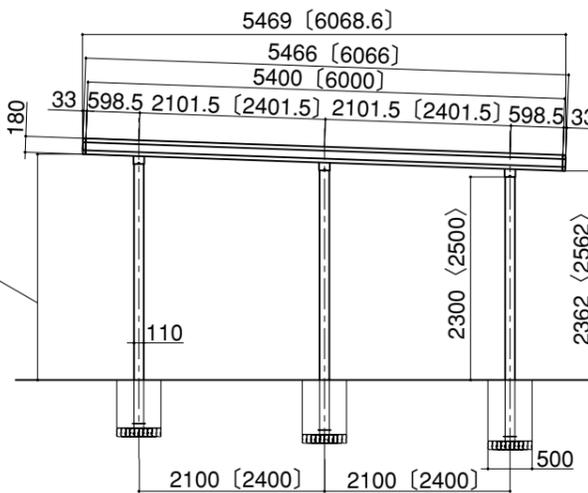
■ 姿図・基本図

<姿図>

● 基本タイプ (積雪3000タイプ)
(5530, 6030)

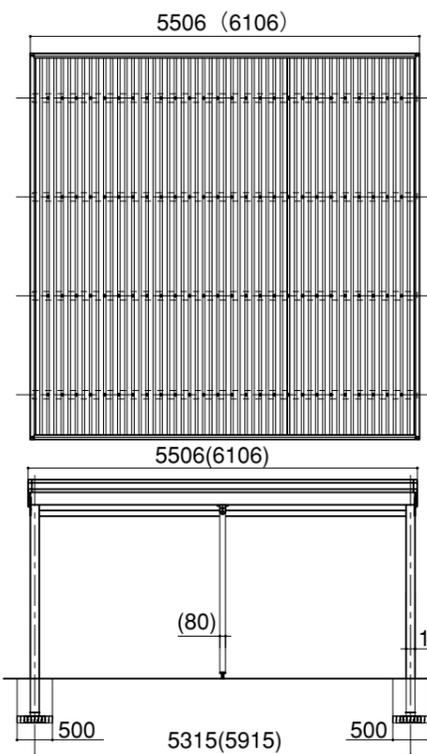


長さ55 : 2562.4 (2762.4)
長さ60 : 2573.5 (2773.5)

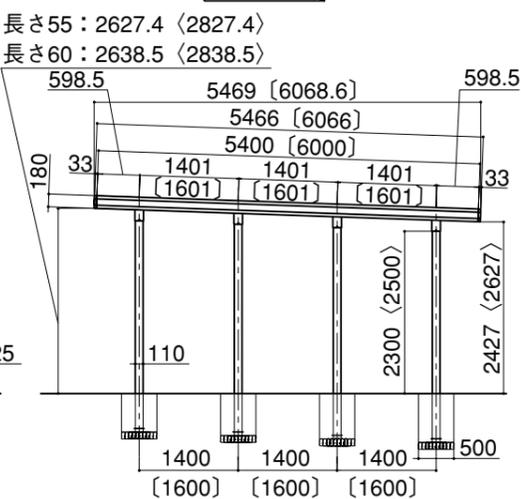


※1 [] 内は長さ60タイプの寸法です。
※2 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。
※3 柱の埋込み寸法はP.21基礎の施工を参照してください。

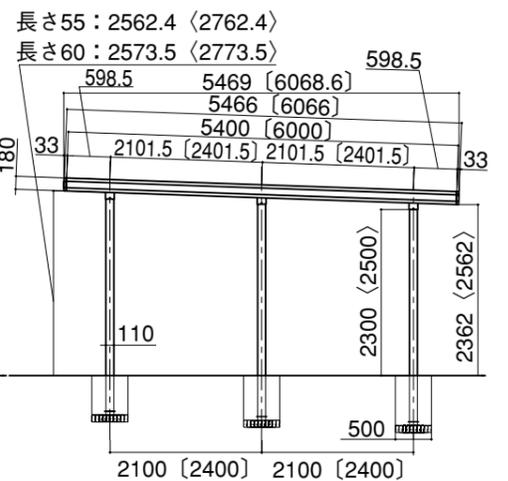
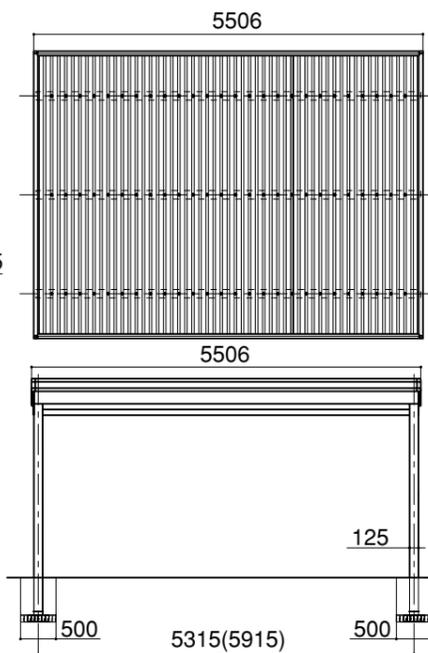
● 基本タイプ (積雪3000タイプ)
(5555, 6055, 5560, 6060:はり4本タイプ)



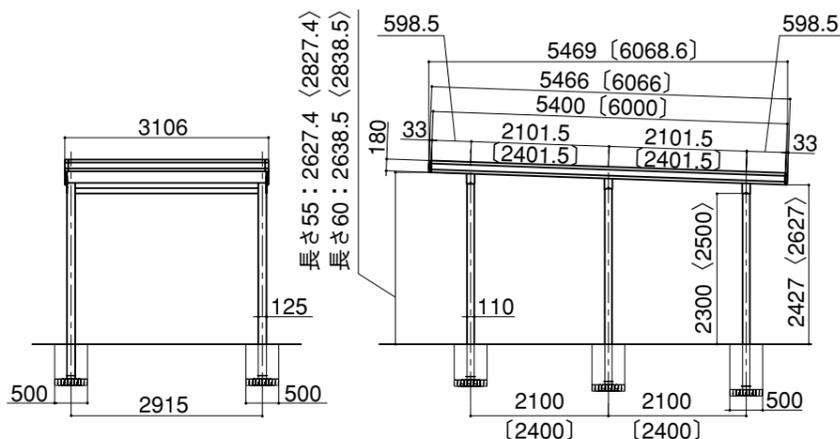
※1 () 内は幅60タイプの寸法です。
※2 幅60タイプにはサポート柱が必要になります。
※3 [] 内は長さ60タイプの寸法です。
※4 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。
※5 柱の埋込み寸法はP.21基礎の施工を参照してください。



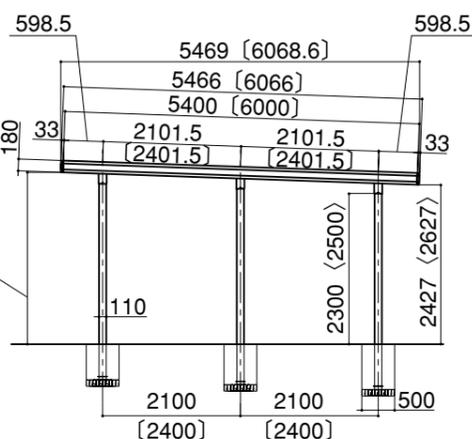
(5555, 6055:はり3本タイプ)



● 基本タイプ (積雪4500タイプ)
(5530, 6030)



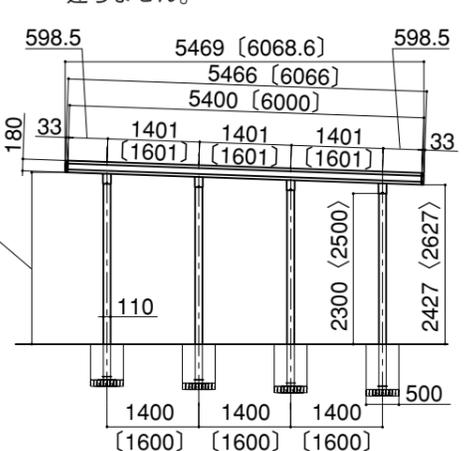
長さ55 : 2627.4 (2827.4)
長さ60 : 2638.5 (2838.5)



● 基本タイプ (積雪4500タイプ)
(5555, 6055, 5560, 6060)
(5555, 6055:柱8本タイプ)



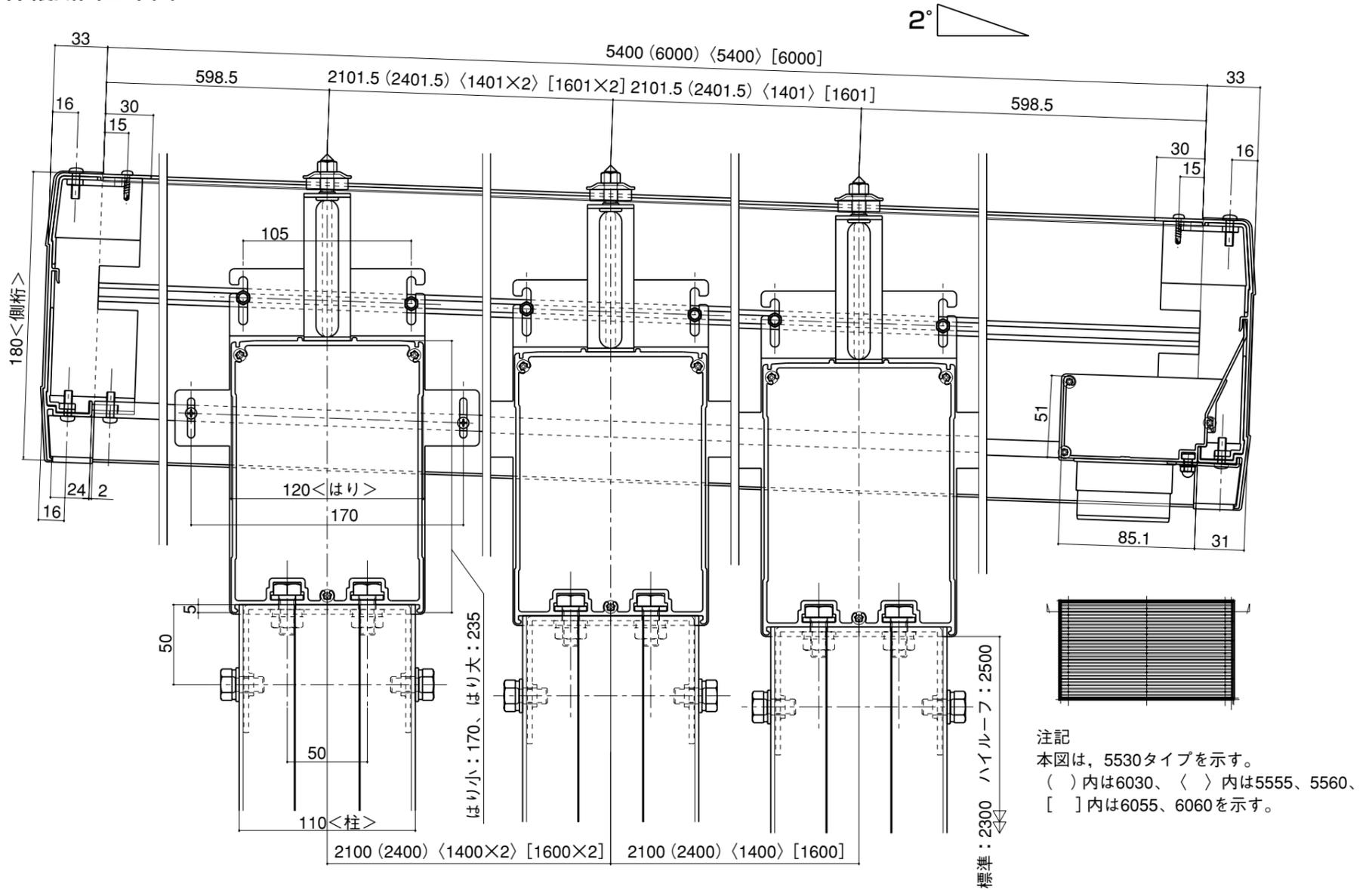
長さ55 : 2627.4 (2827.4)
長さ60 : 2638.5 (2838.5)



※1 [] 内は長さ60タイプの寸法です。
※2 < > 内はハイルーフ柱の寸法です。
※3 柱の埋込み寸法はP.21基礎の施工を参照してください。
※4 中間柱の基礎寸法はP.21構成図を参照してください。
※5 5555、6055柱8本タイプは中間柱は建ちません。

<基本図>

●本体縦断面基本図



●本体横断面図基本図

